

添付資料



過酷な環境の避難所でも利用可能な 「健康管理支援システム実証試験」

サイントル株式会社(東京都文京区 代表取締役:佐藤泉)は、東京大学大学院工学研究科染谷研究室との共同研究として、避難所でも利用可能な「健康管理支援システム実証試験」を実施します。

【日時】

2021年6月19日(土) 12:00~16:00

【内容】

- ・避難所生活支援のための生体・活動情報センシング及び医療スタッフの業務支援のための遠隔モニタリング

東京大学、サイントル(株)により開発している、人体に貼付する生体センサなどの技術により、避難者本人や避難所のスタッフ、また遠隔の場所でサポートする方に各種生体情報や活動情報をモニタリングするシステムの実証試験になります。

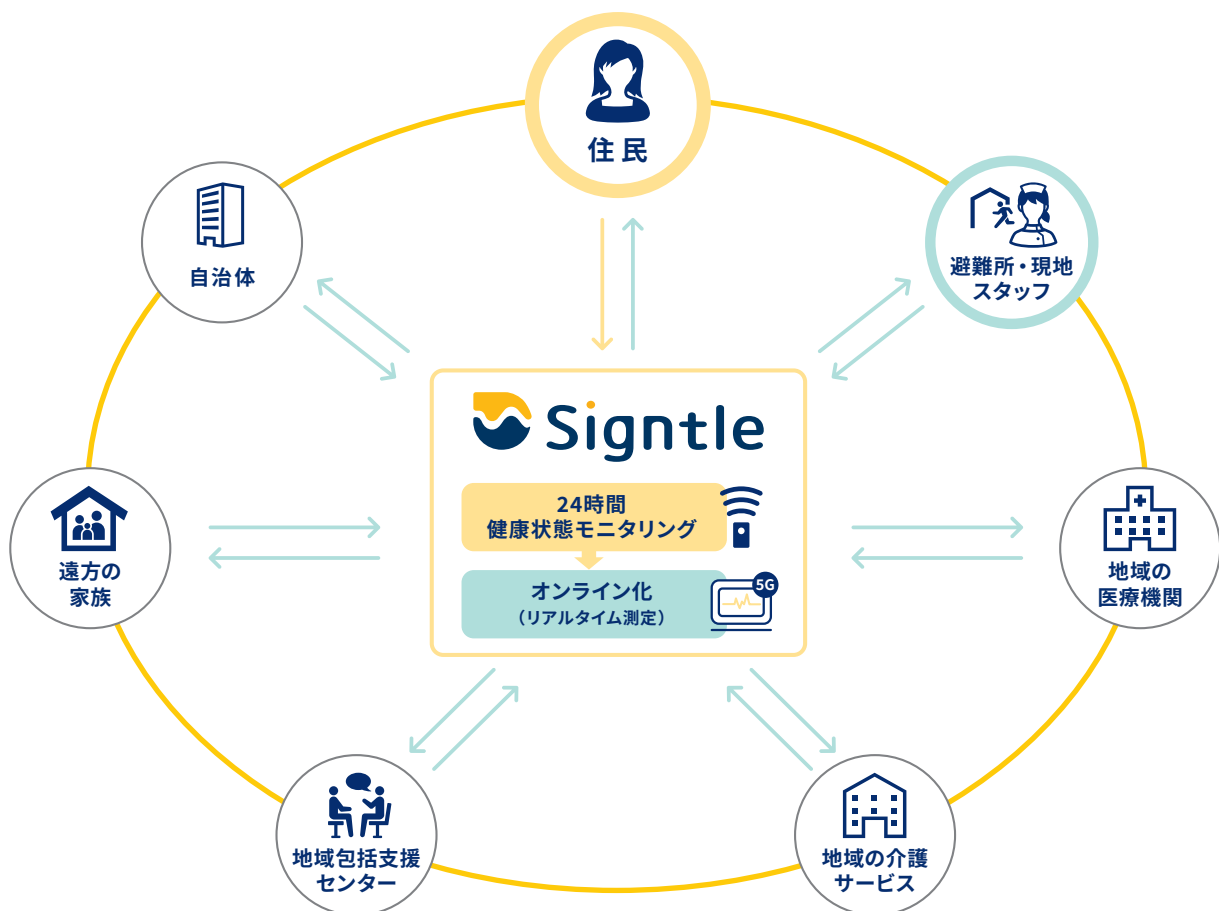
サイントルは、先進のバイタルサイエンスで 避難所生活者の健康をリアルタイムにサポートします。

避難所や離島など厳しい環境でも活用できる健康管理支援システム*こそが、真に役立つ地域包括ケアにつながります。体調に不安を抱える人々の健康状態をスキンセンサーなどで24時間連続モニタリングし、その信頼性の高いデータをオンラインで共有。

現場スタッフと地域の医療・介護機関、自治体、そして遠方のご家族をつなげます。これにより遠隔診療など体調変化への素早い対応はもちろん、医療・介護スタッフの負担も大幅に軽減。

サイントル株式会社は、世界中どこにいても安心して暮らせる健康管理支援システムの実現をめざしています。

*特許出願中



健康管理支援システムの核となる、バイタルチェックセンサー

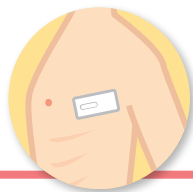
*今回の実証試験で使用

活動時にバイタルデータを測定する

スキン
センサー
(サイントル製)



*特許出願中

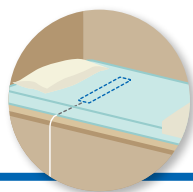


発熱・活動量

肌に貼る絆創膏タイプのスキンセンサーです。軽くて薄くて柔らかく、伸縮性と通気性にも優れたセンサーで、複数のデータを同時に測定し活動状態がモニターできます。

睡眠時にバイタルデータを測定する

Selfcheck
スキャン
(サイントル製)



睡眠時間・
1日平均の呼吸数・心拍数

マットレスや布団の下に置くだけで睡眠時間が測れる、生活習慣をモニターできるセンサーです。心身への負担がなく、避難所などでも簡単に使用できます。

血中の酸素飽和度を測定する

パルスオキシ
メーター



酸素飽和度 (SpO2)・
脈拍

採血せずに動脈の血中酸素飽和度と脈拍数が同時に測定できる医療機器です。体に十分な酸素を供給できているかという心肺機能の診断ができます。

データを
一括表示する
見やすい
モニター画面



睡眠、発熱、活動量などの状態とSpO2、脈拍数のバイタル値を一括表示画面で管理。遠隔でも、リアルタイムでバイタルと活動データを閲覧できます。